

## 第2章

---

### 県民交流広場間のネットワークの推進

---

## 1 地域コミュニティ・アワード2014の実施概要

県全体での広場同士の交流を深め、活動のノウハウや課題を共有することにより、広場の今後の活動が一層充実したものとなるよう、各圏域を代表する広場の先導的な取組や活動の成果の発表の場として「地域コミュニティ・アワード2014」を、平成26年11月22日（土）に、兵庫県公館（神戸市）において開催しました。

6回目の開催となる今回は、各県民局選りすぐりの20広場が参加し、ブース展示やステージによる活動紹介をはじめ、識者を仲介役に広場のお見合い会、そして、モデル広場を表彰するコミュニティ賞の表彰式などが行われました。

当日は天候にも恵まれ、元町マルシェによる県産の地元野菜の販売や、神戸商業高校の生徒が企画したお菓子や、山の学校の生徒による手作りの木工作品等の展示販売などの友情出展もあり、広場関係者や家族連れなど約600人の来訪者で会場は賑わいました。



### 1 ステージ発表

アワードのオープニングを飾っていただいたのは、神戸市長田区丸山地区の皆さんにより「ミュージックベル」の演奏です。澄みきった24の音色でアワードは厳かに幕開けしました。

豊岡市八条地区からは、まずはお子さん12名による「八条の玉手箱」。昔から伝えられてきた地域の様子や文化を、コミカルに元気いっぱい紹介してくれました。

続いて、同地区の大人たちは子どもたちに負けじと「妙楽寺区獅子舞」を和太鼓に合わせて力強く披露されました。

幼稚園から高校生を団員とする多可少年少女合唱団は、敬老の日発祥の地として、多可町で生まれた「敬老のうた きっとありがとう」の歌詞をスクリーンで紹介しながら合唱され、場内はふるさと一色に包まれました。



## 2 各圏域を代表する 20 広場によるブース展示

各県民局から選出された代表 2 地区、計 20 地区の広場実施地域がブース出展しました。絵手紙、手すきはがき、折り紙、ガラス細工等の手工芸品の展示、歴史と伝統を活かした地域づくりの取組紹介、ふれあい喫茶を通じた活動紹介、さをり織りの体験、漬物、黒豆、豆菓子、干しガニ、巻き寿司等の試食・販売など、ユニークな取組やモデル的な活動について、工夫を凝らした展示により日頃の活動を披露しました。今後の継続した活動に向け、それぞれの広場が交流し、学習し合う良い機会となりました。



## 3 広場同士の交流を図る広場お見合い会

広場同士がお互いのブースを見学し、活動を説明し合うことにより、顔と顔が見える関係を作り、アワード終了後も交流できるよう、昨年度より広場のお見合い会を実施しています。

今回は、コミュニティ応援隊の柏木登起氏、坂本津留代氏、野崎隆一氏、和崎宏氏をお見合い会の仲介役であるコーディネーターとしてお迎えし、5 広場ごとの 4 つの班に分かれて活動報告、意見交換を行いました。

各班では、「住民から信頼を得るためにどのような取組をしているのか」「イベントで多くの人に来てもらうには」など積極的に意見が交わされたほか、連絡先を交換するなど、真剣なやり取りが行われました。

それぞれの広場独自の取組について再認識するとともに、他の広場の活動内容を知ることにより、活動エリアや分野を越えた今後の交流に向け良い機会となりました。



#### 4 モデル的な活動をしている広場の顕彰

地域づくりに詳しい識者等で構成する6人の選考委員が、各展示ブースを巡回、各広場は5分の持ち時間を目いっぱい使って、日頃の活動や運営形態などを熱心にアピールしました。

展示内容や出展者との意見交換をもとに審査を行い、今後のモデルとなる活動や特徴的な取組を展開している5つの広場を「コミュニティ賞」の部門賞として選考しました。

今回は、満点が2団体と活動レベルが高まってきていることがうかがえます。

部門賞5団体、奨励賞13団体には、金澤副知事から表彰状及び副賞が贈呈され、「一つ一つの花の輝きが素晴らしい社会の輝きにつながる」と称えられました。



#### 《 県民交流広場コミュニティ賞 部門賞 》

※表紙写真掲載

- |           |   |                   |
|-----------|---|-------------------|
| ① いきいき広場賞 | : 佐用町 <sup>いしい</sup> 石井地区                       | 石井地域づくり協議会        |
| ② なるほど広場賞 | : 香美町 <sup>しばやま</sup> 柴山地区                      | 柴山地区県民交流広場事業推進委員会 |
| ③ みんなで広場賞 | : 宍粟市 <sup>のはら</sup> 野原地区                       | のはらコミュニティ推進委員会    |
| ④ すくすく広場賞 | : 姫路市 <sup>あぼし</sup> 網干・ <sup>あぼしにし</sup> 網干西地区 | 網干・網干西地区地域推進委員会   |
| ⑤ しっかり広場賞 | : 明石市 <sup>とば</sup> 鳥羽地区                        | 鳥羽まちづくり協議会        |



## 1-1 開会式 11:00~

〔岡田代表：あいさつ〕

みなさん、おはようございます。遠くから来ていただいて、一番遠いところは3時間くらいかかったのではないかと思いますけれども、今年もアワードの時期がやって参りました。

私は、先ほどご紹介いただきました、県民交流広場の全県連絡協議会の代表世話人の岡田です。よろしくお願いします。

アワードは今回が第6回ということですが、当初嬉野でスタートしまして、嬉野、嬉野、県公館、淡路で開催し、去年は但馬の長寿の郷にお邪魔しまして、今回ということになります。ちょうど3年ぶりにこの公館でやるということになります。

このアワードでは、県内各地の皆さんとの出会いを大変楽しみにしております。今日も朝から本当に熱心にブースの飾り付け等をしていただきましたけれども、このアワードは年々盛んになって参りました。それぞれ地域では、高齢化や財政の問題など、いろいろ課題はあろうと思っておりますけれども、このアワードへ参りましたら、私が一番感心するのは、本当に頑張っておられるたくさんの方がおられるな、ということで、いつも元気ももらって帰ります。いつも地元へ戻りましたら、後継者がいないとかいろいろな悩みがありますけれども、ここへ来ますと本当に元気な方がたくさんいらっしゃるの、心強いなと思っております。

今年も去年始めたお見合い会をやります。これは非常にいい企画だなと思っております。アドバイザーグループの先生方に仲人役を務めてもらっていますが、これが非常にうまくいっており、今日だけではなくて、お見合い会を通じて交流が深まっているということを実感しております。今日も事前に資料を読ませてもらった、既に交流を進めておられるところもあったようでございます。そのように、頑張っている人同士の交流を通じて、さらにこのアワードが発展していったらいいな、と感じております。

それから、このアワードを開催するにあたりましては、全県連絡協議会、各地の広場の皆さん、県民局、市町の皆さんのおかげで成り立っていると思っております。本当に裏方として、いろいろ準備を進めていただきました方々に、高いところからでございますけれども、この場を通じてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

それから今日は後に審査に行きますけれども、20のブースの皆さん方、ステージ発表もありますが、回りましたらPRの方をよろしくお願いします。なかなか審査の方も難しいのですが、これは決して優劣を競うものではありません。ここに出てこられるということが既に入賞されているということですから、自信を持っていろいろなPRをしていただけたらと思っております。

今日を機会にさらに交流が深まりますように、今日のアワードが大きな成果をあげますことをお祈りして、私の開会宣言といたします。ありがとうございました。



## 〔藤原部長：あいさつ〕

ただいまご紹介いただきました、兵庫県政策部長の藤原でございます。本日は早朝から、県下各地域からこのように大勢の皆さんにお越しいただきまして、地域コミュニティ・アワード2014が開催されますこと、本当に嬉しく思っております。開会には、神戸市長田区選出の県議会議員の加田先生にもお越しいただいております。

コミュニティ・アワードということで、今日は県下には10の県民局・県民センターがありますけれども、それぞれ各地域で活発に活動されている地区を各地域2地区ずつ、県民交流広場の皆さんにお集まりいただき、ブース展示をしていただきまして、交流をしていただくということでございます。

県民交流広場事業はご存じのとおり法人県民税の超過課税を活用いたしまして、広場の整備、5年間の活動経費、これを助成することによって地域コミュニティを再生していこうという、平成18年度から兵庫県が取り組んできた事業でございます。去年、平成25年度で新規の採択は終了いたしました、これまでに県下に小学校区800余りございますが、そのうちほぼ9割の校区、728の小学校区でこの県民交流広場事業に取り組んでいただいております。いろんな地域の活動の中で、さまざまな分野で、それぞれの地域が工夫を凝らして活動に取り組んでいただいていると、非常に心強く思っております。

今日は先ほど言いましたように、各地域で特に活発に活動されている方、団体、広場、1地域2地区ずつ20地区の皆さんにお集まりいただいておりますけれども、今日は交流をしていただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

昨日、国の方では衆議院が解散をされて、これから総選挙となります。今回の解散総選挙の争点として、アベノミクスの是非を問うということが特に一番掲げられているわけですが、今の内閣が進めているのは、経済対策と併せてもう一つ大きな課題としまして『地方創生』という課題が現在挙がっております。昨日解散の前に地方創生法案が可決成立したということで、選挙が終わってから総合戦略が練られ、各地域で地方創生の取組が始まっていくということになるわけですが、地方創生の取組はやはり、一番基本はコミュニティ、地域の皆さんが活動されている地域コミュニティが核になると思ひます。そういう意味で、県民交流広場事業はこれからその真価が問われてくると私は思っております。

県としましては、従来からこの助成期間が5年間と限られておりますので、5年間が終わった後もそれぞれ活動の工夫を凝らしていただき、やっていただくことを目指しまして、そのフォローアップという意味でこのアワードを、今回で6回目ですが、展開しております。まさに助成期間が終わっても活動を継続していただくための、それぞれの情報交換をしていただき、さらに活発化をしていただこうと、このアワードを展開しているわけですが、今日も先ほど岡田代表からも紹介ありましたように、お見合い会ということで20地区の皆さんが相互に、それぞれこれからいろんな情報を交換し合いながら、相互に切磋琢磨する団体、広場を見つけていただき、これから密に交流していただくというお見合い会をこの後予定しております。



それから最後に、この 20 地区のうち特にユニークな取組、モデル的な取組として県下広めていきたいな、と審査委員会で選考された広場を表彰します。5つの部門賞、それから奨励賞をもらっていただくという、アワード表彰式を最後に予定しておりますので、ぜひお見合い会、その後の表彰、ご期待いただきたいと思います。

今日のこの交流会、アワードを通じて、県下の広場がさらに活発な展開をされることを祈念申し上げまして、私からのごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞ一日よろしくお願ひ申し上げます。



## 1-2 県民交流広場お見合い会 14:00~15:00

### ◇お見合い会の進め方

広場の現状、特性等を熟知したコミュニティ応援隊アドバイザーグループのメンバーがコーディネーターになり5団体の広場同士がお互いのブースを見学し、活動を説明し合いました。



### ◇グループ分け

- Aグループ：神戸市長田区丸山地区、加古川市氷丘地区、姫路市糸引地区、佐用町石井地区、淡路市生田地区
- Bグループ：三田市三田地区、姫路市網干・網干西地区、神戸市灘区岩屋地区、豊岡市八条地区、南あわじ市榎列地区
- Cグループ：尼崎市上坂部地区、明石市鳥羽地区、多可町八千代地区、宍粟市野原地区、篠山市後川地区
- Dグループ：香美町柴山地区、丹波市新井地区、加東市上福田地区、西宮市津門地区、猪名川町松尾台地区

### ◇コーディネーター

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| Aグループ：(特)シミンズシーズ事務局長          | 柏木 登起 氏 |
| Bグループ：井吹台自治会連合会会長             | 坂本 津留代氏 |
| Cグループ：(特)神戸まちづくり研究所理事・事務局長    | 野崎 隆一 氏 |
| Dグループ：(特)はりまスマートスクールプロジェクト理事長 | 和崎 宏 氏  |

### 〔柏木氏：Aグループ講評〕

先ほどご紹介いただきました県民交流広場のアドバイザーグループをしています柏木と申します。NPO法人シミンズシーズで活動しています。それでは、関わらせていただきましたAグループの5つの団体の感想等を少し、お話しさせていただきますと思います。

県民交流広場のアワードは毎年すごく楽しみにしています。何を楽しみにしているかということ、いろんな創意工夫があって、こうかなと思い込んでいたものが全然違うなど、発想の転換をずっと気づかせていただく機会になっています。広場の皆さんもお互いに、「個人負担は今0円でやっているけど」「いやいやちゃんと負担してもらってるで。700円取ってるで」みたいな話などがいろいろと出てきていたところが、とても良かったなと思っています。







そういう発想の転換というところで、私が今日驚いたことの 하나가、冒頭にハンドベルの演奏をされた丸山地区の皆さんです。ハンドベルといったらメンバーはある程度決まっています、毎回練習して、という発想になると思うのですが、実は丸山地区は毎回毎回誰が来るかわからない。参加も申込とかがなく、「いつでも来ていいよ」というゆるやかさがあるからこそ、負担に感じずに

参加できるそうです。今日の演奏も「何人来るかわからなかったんですよ」といってあの演奏ですよ。それは練習のやり方とかをすごく工夫されているのですが、そんな風に固定概念を覆されて「えーっ！」と思っています。「いつ来てね。これ参加してね」という強制ではないからこそ、ゆるやかだからこそ参加できる、そんな工夫をすごくされているなと思いました。

2つ目に、氷丘地区と糸引地区は公民館を活用されて活動されています。やっぱり公民館ということで文化を地域の中で根付かせていく、広げていく拠点だなと思っています。1つ感じたのは、文化というのは可能性がまだまだたくさんあるなということです。歴史や、子どもを巻き込んでハイハイランドなどをしたり、いろんな文化だからこそ地域の中で得意なこと、特技を持った人を巻き込みやすいと思います。文化を切り口に活動を広げていける可能性を、私は回らせていただけてすごく感じました。

3つ目、石井地区と生田地区は中山間地域という地域ならではの、和紙をブランド化したり、そばカフェを運営されたりしています。こういったところは本物にどうこだわられるかというところで、中山間地域だからこそ本物の奥深さを追求していける可能性があって、それをどうブランド化していけるかというところにまだまだ可能性があるなと思いました。本物で対価をきちっと取るということで、コミュニティビジネスとして成り立たせていける可能性というのをすごく感じました。

今日は私もこんな発想の転換がまだまだあるな、と感じましたので、ぜひ皆さんもそんな刺激を地域に活かしていただけたらなと思います。これで講評にかえさせていただきます。ありがとうございました。

### 〔坂本氏：Bグループ講評〕

私はBグループを回らせていただきました。先ほど、柏木さんが参加してよかったことを言われたのですが、ちなみに私は、去年はカレーがおいしかったとか、今日はそばのかりんとうやキムチを買ったりとか、本当にそれを楽しみに来させていただいていますので、少し動機が不純かもわからないのですが、Bグループを回らせていただいて少し感じたことをお話しさせていただきます。



まず、6番の三田地区を回りました。三田は昔の正門とかがあるすごく昔からの城下町なのですけれど、そこが和風の戸建てを借りて活動しているとおっしゃっていました。いろんなお話を聞いたのですが、まず「じばやん倶楽部」。この「じばやん」は何ですかと



聞いたら、じいさん、ばあさん、ヤングさんだと。また、折り紙倶楽部がすごく上手なんです。そのお話を聞くと、「バーバラさんの折り紙倶楽部」というので、外国の方がおられてすごいな、と思ったら日本人の方なんです。けどその方を語るときの三田の方々の思いが、三田を物語ってるなと思うくらい熱かったです。ほんとにいい町だな、あたたかいな、みんなが仲良しなんだなと思って、きっと発展されるだろうなと思いました。

7番の網干地区は、ここはもう何も言うことありませんっていうくらい、地域の団体がNPOをとって、課題とこれからの問題も全部ちゃんと挙げられていました。「みなさん、NPOが地域の中で活動していて、私たちもNPOになりたいなっていう時はこの地区に聞きに行きませんか」っていうと「うちにも問題はあります」と。ああ、どんな地域にもいいこと、悪いこと、問題はあのだなと思ったのですが、絵に描いた餅でも食べることが出来るっていうほど、びっくりした地域でした。

8番目の岩屋地区ですが、これまたなかなかの地域性で、大規模マンションがあつて、ワンルームマンションもあつて、といわれるので大変だろうなと思うのですが、地域の方々が若いです。その中で目標というのが「人との出会い、我がまち岩屋。高齢者、子どもたち、障害のある人、みんなが安心して暮らせるまちを目指す」。すごいと思いませんか。でも、これをやっていらっしゃる女性の方々が、ああいう女性になりたいなという、女性パワーが爆発していましたので、きっと若い世代がその人たちを目指して、地域に入っこられるだろうなと思いました。ですから、ますます女性パワーで発展していく地域だなと感心してしまいました。

八条地区ですが、これまたびっくりで、「地域愛」というのを強く区長さんが言われていました。都会の者は田舎を見ると閉鎖的とか思ってしまいますが、新しい者も仲間ですよという区長さんの懐の広さにびっくりしました。また、「子どもたちが増えてね、放課後保育のクラブの建物も新しく建てたんだよ」といわれるので、「あ、『ロコミで広がる住みたい日本』。これからの過疎化を解決する地域がここにあった」というふうに思いました。

最後に回ったところは、南あわじのおのころふれあい推進委員会さんです。ここはまた歴史があつて、パンフレット一つ見てもすごく素晴らしいものができていて、どこがお困りになっていらっしゃるんだろうと思ったのですが、でも「困ってるんですよ」と言われま。でもその顔がにこやかなので、本当はお困りではないのではないかと、思うほど、本当に一つ一つの地域が素晴らしいなと思いました。

他の先生方のように私はあんまり細かく見ていなくて、自分も活動団体の一つですので、同じ立場として、こう言いながらも苦勞されているんだろうな、きっと準備も大変なんだろうな、これから先どうしようとかいっぱい不安を抱えて活動されているんだろうなと思っていましたが、こうして回らせていただいて、1つだけ感じたことが、「兵庫って素晴らし

いな」ということです。というのは、こんなにいろんな地域があって、こんなに素晴らしい人たちがおられて、地域を愛して、愛着を持ちながら子どもたちを育て、地域の人にどうして伝えよう、これをどうして発展させていこうと思っただけで、こんなにたくさんある、兵庫は素晴らしいなって思いました。ありがとうございました。

### 〔野崎氏：Cグループ講評〕

女性パワーが炸裂したので非常にやりにくいな、と思っております。私は5地区回らせていただいたのですが、都市部の地区が2つと、地方部、多自然地域が3つありました。

都市部の方で共通していたのは、新旧住民の融合ということですね。転入してくる人たちと、元々からいる人。これが1つの大きな課題かな。後の地方部の方はそれぞれいろんなテーマがあったのですが、地域の特産品、地域ブランドをどうアピールするかですね。今ある地域資源をどう活用するかという、活性化させるためのアイデアが必要だということで、非常に苦労しているいろんな取り組みをされてい



ました。一つ一つご紹介しますが、尼崎の上坂部地区。これはJRの塚口駅の東側、皆さんご存じの方が多いと思いますが、森永乳業の大きな工場があって、それがなくなってしまふ。そこへ大手デベロッパーがなんと4000戸の住宅をつくると。もともとのエリアは8800戸しかないのに、そこへ4000戸も入ってくるということで、どう受け入れるかというのに非常に苦労されている。よそ者がやってくるというのではなくて、やってくる人たちに新しいふるさとをどう提供できるのかという取り組みをやっていこうというご提案がありました。

それから明石の鳥羽地区については、ここは非常にマネジメントがしっかりした地域で、たぶんいろんな企業をリタイアされた方々が中心となっておられると思うのですが、組織の作り方など、3年ごとに全部見直しのアンケートをして今までの活動を見直して、再スタートするということをずっと続けてやっておられる。得てして、活動って初期の活動者が同じ路線を続けるということが多いのですが、そういう見直しをしていくということをしつかりとやっておられます。

それから多可町の八千代地区ですね。ここは敬老発祥の地ということで、敬老を1つのテーマとして頑張っておられるのですが、実はここですごく素晴らしいアイデアがありました。それは地元の学校の同級生のソフトボール大会を毎年やっているということ。同級生同士のソフトボールだから、試合に足りる人数を集めないといけないのです。同級生に電話して集めて、クラス対抗とか学年対抗で試合をして、その後はたぶんそこへ泊まって、みんなで酒飲んで、久しぶりにふるさとで集まると。ソフトボールということを通じて、毎年集まれる工夫を作っておられる。これは本当にナイスアイデアだなと、他の地方の人口の減っている地域もぜひ取り入れていただいたらおもしろいなと思いました。

それから宍粟市の野原地区ですね。ここはもう本当にいろんな資源があります。地域の

名所があちこちにあつて、そういうものを総動員してマップを作ったり、対外向けのアピールの資料を作ったり。もともと多自然で長く続いてきた地域は、必ず何かありますよね。それを非常にうまく集めてアピールすることをしっかりされておられる。さっきの多世代の話では、大人と子どもの対抗ソフト大会というものをやっておられるそうです。子どもだけでは1チームにならないらしいので、大人のチームと子どもたちが対抗するというのをやっておられると聞きました。

最後に篠山市の後川地区。ここは多自然の地域なのですが、私が回った中で一番世帯数が少ない、コンパクトなエリアなんです。ここは元々は地域産業、加工組合ですかね、それがベースになって県民交流広場事業を立ち上げられたということで、やっぱり地域の名産品をどんどん創り出そうということで、名産品で地域を活性化させようということをやっておられます。ただなかなか、インターネットで売るとか、道の駅に持って行って売るところまでまだいないようで、もう少し準備が必要だということで慎重にやっておられるのですが、ぜひ大きな展開を一步踏み出していただいて、やっていただけたらなと思いました。



いずれの地域も、それぞれの地域なりの課題をしっかり捕まえて、アイデアを出しながら活動されているということで、非常に頼もしいというか、力強くエールをいただいてお話しできました。どうもありがとうございました。

### 〔和崎氏：Dグループ講評〕

和崎でございます。Dグループを回らせていただきました。香美町の柴山地区、丹波市の新井地区、加東市の上福田地区、西宮の津門地区、猪名川町の松尾台地区という東側の面の皆さんでした。



共通して感じられたのは、本当に今の既存の組織をうまく活用して、住民の交流を深めてつながりづくりを実践する。結果、地域力を覚醒させていく、そういう取り組みを皆さんされておられるなと思って、県民交流広場が本当にあつてよかったねと皆さんおっしゃっていただけたのがとても嬉しかったなと思います。ここにいますと地域の宝物を探して活かされようと、もしくはもう活かされている。カニがあつたり、山があつたり、

文化があつたり、黒豆があつたりとですね。それぞれをどう見せるか、どう自分たちのプラスにもっていくかみたいところで真剣に取り組が進められています。また、イベントとか防災の活動を通じて地域内の交流を深めるとともに、他地域とうまく連携をされて行き交いされていて、田舎と都会とか、山と海とかですね。お互い持っているものが違うところをマッチングされて楽しくやられているなど。また、「楽しくなきゃできないよね」って

という言葉も一つキーワードだったのだらうと思いますね。

ただ、課題もあります。人材ですよ。次誰がやってくれるの、どうやってつくるの、という人材の問題。それから継続するための財源の問題があります。また、これも5地区だけなんですけれども、人材については青年部をつくってこれからバトンを渡す人たちを育成しようとしているんだ、財源についてはもともと持ち寄りを基本に身の丈で活動してきて、ちょっとだけ無理するぐらいで広げてきたので、それほどには心配はないんだよとか。いろいろ自分たちの振り返った活動のなかにヒントになるようなものがたくさんありました。

また、もっともっと交流を広げたいんだ、深めたいんだっていうニーズには、1つにはインターネットのフェイスブックを使って情報発信をされている広場があったり、全戸に年4回ニュースを配信されて、こんな活動をやっているから参加してくださいと呼びかけをしておられたり、極めて積極的に動かれているところもあり、普段は自分たちの活動の中だけで閉じてしまうところを一生懸命開いていこうとされておられました。

今回お見合いをさせていただいて、広場それぞれの特徴があるのですけれども、持てるものと、ないものというのがみんな一緒になくてそれぞれ別々、多様なんです。つまり、広場と広場でくっつけばいろんなことが実現できていく。様々な交流をできるような場づくりをしていくことが大切で、今日のようなイベントをきっかけにたくさんの広場がみなさんでつながってってもらえたらきっとこの県民交流広場、さらに大きな花を咲かせるのではないかなと確信をもった、今日のお見合いでした。どうもありがとうございました。



〔金澤副知事：あいさつ〕

みなさんこんにちは。午前中から今に至るまで、結構長い時間だったと思いますけれども、長く感じた方いらっしゃるでしょうか。短く感じた方のほうが多いのではないかと思います。

実は私はついさっきここに来たばかりで、各ブースも一通りご挨拶する程度しかお話をできなかったのですが、今4人のコーディネーターの皆さんのお話を聞いて、あらためて今回よりすぐりの20地区、20広場がどんな活動をされているのかということの一端は理解することができました。

拝見させていただいて、また今コーディネーターのお話を聞いて私として印象に残ったのは、広場事業ってものすごく広がりが出はじめている、広がりがあるということです。一つは活動の中身の広がりですね。食あり、文化・伝統・芸術あり、世代間交流あり、福祉あり、まちづくりあり、他にもいろんな活動、ありとあらゆるジャンルの活動がこの広場を通じて展開されている。全く制約のない、広場というのは自由な、広がりをもった活動のできる場なんだなということを感じたのが1つ目です。



2つ目の広がりとは、その地域の中での広がりです。大勢の人たち、それも世代がお年寄りから子どもたちまで、いかに大勢の人たちに広場に関わっていただくかという、その地域の中で工夫をされているような世代の人、いろんな階層の人、いろんな職業の人に関わってもらう、そういう姿勢というのを感じました。

3つ目の広がりとは、地域を越えた広がりです。それぞれの地域の中だけではなくて、他のところとブリッジをかけて、お互いにより磨きをかけていく、お互いにより協力し合っていく、お互いの地域にないものを他の地域にも広めていく。そういう広がりをそれぞれの広場の活動でしっかりとされているのだなというのをしみじみと感じました。

そういう意味で今日のこのお見合い会という形で広場の交流をやらせていただいたのも、そうしたいろんな広がりをさらに深め広めていく有意義な場でもあったのではないかなと思っています。

今日これからアワード、表彰という形で顕彰させていただきますが、実は毎回言うのですが、このアワードというのは決して優劣をつける主旨のものではありません。どちらかといえば1つの区切り、ご苦労様、皆さん本当によくやってくれましたということをご皆さんにお伝えする、その1つの手段にすぎないと思っています。

本当に顕彰に値するのは、アワードではなくて、皆さんの日頃からの活動です。要は、この場が顕彰の場ではなくて、日頃の活動がすでに皆さん方の広場の顕彰の場になっている。それを確認する場だと思っています。



お集まりの皆さんはすでにご承知かもしれませんが、このシャンデリアは県の花「のじぎく」です。この、のじぎくの花というのは、一つひとつの花はほとんど目立ちません。おそらく広場で活動されている皆さんも、一人ひとりが目立とうというようなことは思っていらっしゃらないでしょうし、また、一つひとつの、一人ひとりの活動が目立っているわけではないと思います。ただ、そ

うした小さい花、目立たない花が全体として集まったときにこれだけこの大会議室を輝かせることができる。これもまた事実でして、そうした一人ひとりの、一つひとつの花の輝きがすばらしい社会全体の輝きにつながっていくことを、あらためてこの公館のシャンデリアを見て思い出していただければ大変嬉しいかなと思います。

今日のアワードも締めくくりの場になりましたけれども、あらためて県の立場から皆様方の活動に心からの敬意を表させていただきたい、また、お礼も申し上げさせていただきたいと思います。本当にありがとうございます。

#### 〔岡田代表：講評〕

お待たせいたしました。アワードは成績を競う場ではないのですが、皆さん発表を非常に楽しみにしておられると思います。講評と言うよりも、6人の審査員で審査をさせてもらいまして、感じたこと、話し合ったことを少しお知らせして、参考にさせていただければと思います。

まず、私はずっと審査をさせていただいていますが、今年はびっくりしたことがあります。1つは6人とも票を入れた満票の地区が2つあるのです。それぞれ少し見方は違いましたが、それぞれがいろんなことで評価している。満票は私の記憶ではあまりなかったと思うのですが、その地区が2つ出たのは非常に素晴らしいことだと思いますのでご紹介しておきたいと思います。1つは12番の明石市鳥羽地区でございます。ここは先ほど野崎先生がおっしゃいましたように、組織がしっかりしている。ここにパンフレットをいただいているのですが、非常に緻密な計画を立てて3年ごとに見直されていて、組織が非常にしっかりしているということを皆さんおっしゃっておりました。それから16番の香美町の柴山地区。ここは船舶防災訓練、こういうことをやっておられるところはたぶん他にないと思うので、その素晴らしい取組が皆さんに評価されたのではないかと思います。何賞というのは後で紹介したいと思います。

それからもう1点目は、高校生との交流です。佐用郡の石井地区は非常に人口が減っているようで、そのことが神戸新聞に載り、去年から兵庫高校の子が石井地区へ行って交流をしているということで、今日もお手伝いに2人か3人来てくれました。これは素晴らしいことではないかと思います。地区の人は高校生のパワーをいただいて非常にありがたいとおっしゃっ



ていましたけれども、このような交流の姿というのは非常に他の地区にも参考になるのではないかと、ということでご紹介しておきます。

それから、今日は交流のためにお見合い会をしましたが、すでにこの中で8番の神戸市灘区岩屋地区と17番の丹波市の新井地区は交流をされておりまして、これはいろんな経緯で始まったと思いますが、委員の方々からは「交流賞」みたいなものが作れたらいいなというような話がでましたので、触れさせてもらいました。

それから、運営費の問題があります。今回の出展地区の中には、助成金が終わった地域がたくさんあります。4番の佐用町石井地区、それから7番の姫路市網干・網干西地区、12番の明石市鳥羽地区、18番の加東市上福田地区、20番の猪名川町松尾台地区。この5地区についてはすでに助成金が終わっているわけですが、いろんな工夫をされて立派に続けておられるということで、非常に取組の参考になるのではないかと思いますのでご紹介をしておきます。

以上の4点ほど、審査員で話し合ったことを少し報告させてもらって、これを講評にかえさせてもらいます。ありがとうございました。

#### 《選考基準》

- ① いきいき広場部門：地域性（地域の個性、地域資源を生かした取組が顕著である）
- ② なるほど広場部門：独創性（ユニークなアイデアや独創的な取組が顕著である）
- ③ みんなで広場部門：多様性（多くの住民や団体等を巻き込んだ取組、効果的な情報発信、地域を越えた連携が顕著である）
- ④ すくすく広場部門：継続性（新たなリーダーの養成や安定的な財源確保の工夫などの取組が顕著である）
- ⑤ しっかり広場部門：組織運営の堅実性（民主的な意思決定機構や幅広い住民の意見聴取など組織運営上の取組が顕著である）





# 地域コミュニティ アワード2014








**県内各地から  
県民交流広場が  
集まります！**

日時：平成26年11月22日（土）  
11:00～16:30  
場所：兵庫県公館  
主催：県民交流広場全県連絡協議会、兵庫県

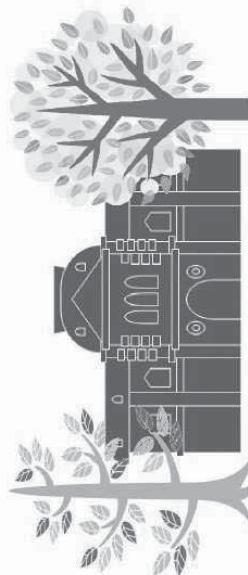
タイムスケジュール
11:00 ウェルカムステージ 【ミュージックパベルの演奏】 (神戸市長田区丸山地区)
11:10 オープニングセレモニー 開会あいさつ他
13:10 ステージ発表 【八条の玉手箱・砂楽寺区獅子舞】 (豊岡市八条地区) 【合唱】(多可少年少女合唱団)
14:00 県民交流広場お見合い会
15:30 広場お見合い会講評
15:45 コミュニティ・アワード表彰式

### 兵庫県公館アクセスマップ



地域コミュニティ・アワードについて  
永きにわたり県政の歩みを刻んできた歴史的文化的遺産の「兵庫県公館」を舞台に、地域づくりにはかせない“交流”と“地域コミュニティ”をキーワードに、地域づくりに携わっている方々のふれあいの空間をご提供します。

地域コミュニティ・アワード2014  
県民交流広場事業の新規採択が終了し、今後ますます地域を越えた交流や、県民交流広場を通じて培われた人と人のつながり、活動の継承が求められています。これまでの事業の成果を生かすために、全県規模で広場の実施地域が相互に活動のノウハウや課題を共有し、意欲を高める交流の場づくりとして、地域コミュニティ・アワード2014を開催します。

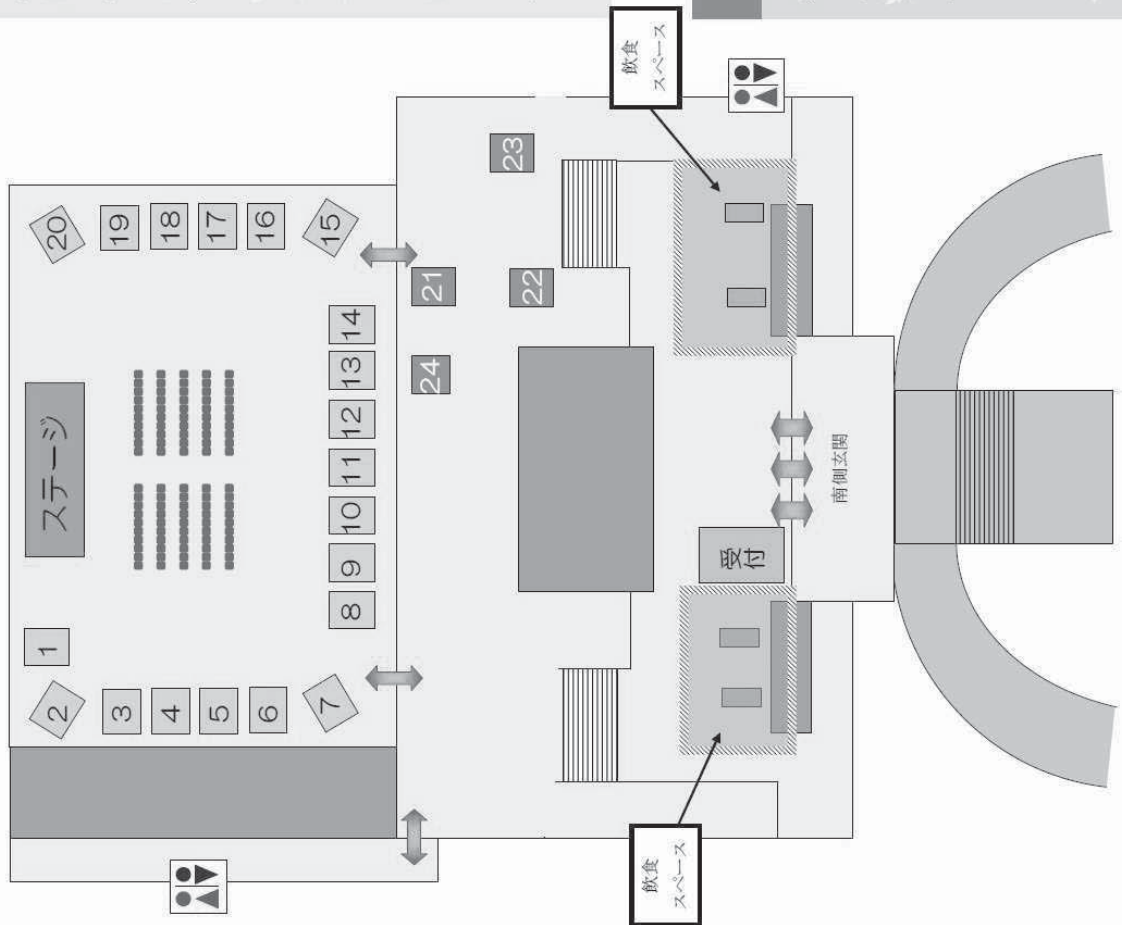


# 会場内マップ



## 県民交流広場 ブース出展

- 1 神戸市長田区丸山地区  
パネル展示、給手紙、手芸品などの展示
- 2 加古川市永丘地区  
パネル展示、幟旗などの展示
- 3 姫路市糸引地区  
パネル展示
- 4 佐用町石井地区  
パネル展示、手すきはぎ販売
- 5 淡路市生田地区  
パネル展示
- 6 三田市三田地区  
パネル展示、折り紙、手芸などの展示
- 7 姫路市網干・網干西地区  
パネル展示、手作りガラス細工等販売
- 8 神戸市灘区岩屋地区  
パネル展示、さをり織り体験、作品販売
- 9 豊岡市八条地区  
パネル展示
- 10 南あわじ市榎列地区  
パネル展示
- 11 尼崎市上坂部地区  
パネル展示
- 12 明石市鳥羽地区  
パネル、織・法被等展示、明石の水(無償提供)



## 県民交流広場 ブース出展

- 13 多可町八千代地区  
パネル展示、巻き寿司販売
- 14 宍粟市野原地区  
パネル展示
- 15 篠山市後川地区  
パネル展示、漬物・黒豆など試食・販売
- 16 香美町柴山地区  
パネル展示、香住ガニ(干しガニ)試食
- 17 丹波市新井地区  
パネル展示、豆菓子試食・販売
- 18 加東市上福田地区  
パネル展示、巻き寿司・助六弁当販売
- 19 西宮市津門地区  
パネル展示
- 20 猪名川町松尾台地区  
パネル展示、いなほウグイス、しし肉はるさめ等販売

## 特別出展

- 21 県立神戸商業高校  
パウンドケーキ、べったん焼き等の販売
- 22 県立山の学校  
手づくり木エイズ等の販売
- 23 元町マルシェ  
兵庫の特産品・県産の新鮮な野菜等販売
- 24 県政情報  
兵庫県の政策情報など

## 1 神戸市長田区丸山（まるやま）地区 丸山ふれあいのまちづくり協議会

丸山地区は神戸市長田区の最北に位置し、坂道と階段の多い住宅地です。活動の拠点である丸山地域福祉センターは、住民の貴重な交流の場・つどいの場となっています。子どもから高齢者まで多くの住民にセンターへ足を運んでもらい、地域の絆を深めることを目指しています。

連絡先：078-631-2761

## 2 加古川市氷丘（ひおか）地区 氷丘地区県民交流広場推進協議会

氷丘地区は、利便性も良いことから都市化が進み、新旧の地域住民の交流が課題となっています。当協議会では、「挨拶で深まる絆 氷丘の郷」をテーマにした挨拶運動などを展開し、各種団体が手を取り合い、地域住民同士がつながることで、地域への貢献の輪を広げることを目指しています。

連絡先：079-423-3888

## 3 姫路市糸引（いとひき）地区 糸引地域推進委員会

糸引地区は近年、宅地化が進み、少子高齢化の時代には珍しく、子どもが増えている貴重な地区です。活動においては、世代間交流に特に力を入れ、子ども対象の事業を多く設け、地域の子も達が心豊かに成長できるように取り組んでいます。また、高齢者には医療や歴史など関心の高い事業を取り入れています。

連絡先：079-245-0049

## 4 佐用町石井（いしい）地区 石井地域づくり協議会

石井地区では、自分たちの地域は自分たちで創り育てていくことを基本に、人の輪づくり、安全・安心な地域づくり、地域の力を育むコミュニティの場づくりとその仕組み作りに向けて、ゆうあいの郷里づくりを目指しています。地域資源であるミツマタを利用した紙すき体験教室や和紙の販売を行い、地域おこしの一助としています。

連絡先：0790-85-0155

## 5 淡路市生田（いくた）地区 生田地域活性協議会

生田地区は、地域内のコミュニティの発展とともに、「そば花まつり」などのイベントを通じて地域外の人々との交流を重視して取り組んでいます。また、「そばカフェ生田村」の事業運営で、そばの特産品の販売を行うとともに、安定的な経営で、助成がなくなっても交流広場の活動が持続できる体制をめざしています。

連絡先：0799-70-1478

## 6 三田市三田（さんだ）地区 三田地区県民交流広場地域推進委員会

三田地区は三田藩の城下町として栄え、三田じばやん倶楽部は、その旧市街地の一角にある和風1戸建ての民家を借りて開設しました。「我が家」のように普段着で、風のようにさわやかに参加できる、ボランティア団体の活動拠点、コミュニティ活動の実践の場として期待しています。

連絡先：079-558-8782

## 7 姫路市網干・網干西（あほし・あほしにし）地区 網干・網干西地区地域推進委員会

当地区では、地元の各種団体とNPO法人を設立し、網干の諸団体をコーディネートしながら①継続可能な地域活性化事業、②他地域から来訪者を迎える事業、③新しい地域資源の創出を目標に、毎週土曜日開催の「朝市」など、日々様々な活動を行っております。

連絡先：079-255-8001

## 8 神戸市灘区岩屋（いわや）地区 岩屋ふれあいのまちづくり協議会

岩屋地区以南にHAT神戸灘の浜ができ、町並みや人の流れに変化が見られますが、西灘方面に向かう地域は、商業地区、大規模マンションやワンルームマンション、既存の古い住宅が混在する地域です。“高齢者・子どもたち・障害のある人”みんなが安心して暮らせるまちを目指して、様々な活動に活発に取り組んでいます。

連絡先：078-881-4918

## 9 豊岡市八条（はちじょう）地区 八条区長会

八条地区は住宅開発が進み、人口も増えている活気に満ちた地域ですが、村文化も数多く残り、地域愛や住民間のつながりも強いいため、次世代に繋ぐ昔話の掘り起しをしようと勉強会に取り組んでいます。その活動の輪は、小学校の協力を得て、今年度は「八条の玉手箱」小学生版の作成へと広がっています。

連絡先：0796-24-1164

## 10 南あわじ市榎列（えなみ）地区 おのころふれあい広場推進委員会

榎列地区では、郷土を育み、住み良い、住みたい町作りをめざし、地区全体のレベルアップのため、様々な分野の学識者による講演を行っています。また、11地区間の交流を促進するため、夏まつりを企画、運営し世代間の意思疎通に努めている他、そば打ち体験や料理教室などの活動にも取り組んでいます。

連絡先：0799-42-2710

## 11 尼崎市上坂部（かみさかべ）地区 上坂部県民交流広場地域推進委員会

上坂部地区は大阪エリアの通勤圏として早くから注目されてきましたが、昨今、企業の転出が相次ぎ、跡地に共同住宅が建設され、古くからの居住者と新規転入者との交流を模索しています。ふるさと創生を意識した地域コミュニティの形成を図っています。

連絡先：06-6493-2187

## 12 明石市鳥羽（とば）地区 鳥羽まちづくり協議会

鳥羽地区では、「ふれあい・健やかなふる里づくり」をメインテーマにまちづくり3か年ビジョンを描いています。安全・健康・福祉・子ども育成・生活環境の5部会を編成し、全世帯アンケート調査結果を参考にそれぞれの部会が、学校や各種団体と協働し、創意工夫を凝らしながら、まちづくりの充実に向けて取り組んでいます。

連絡先：078-928-3767

## 13 多可町八千代（やちよ）地区 八千代交流広場推進協議会

八千代地区は少子高齢化が深刻な地域ですが、「敬老の日提唱の地」であることから、昔の遊びや季節行事等の活動を通して、年長者を敬う気持ち、絆、その精神の大切さを次世代に受け継いでいくことで、「元気な地域づくり」へと繋げていくことを目指しています。

連絡先：0795-37-0250

## 14 宍粟市野原（のほら）地区 のほらコミュニティ推進委員会

野原地区は少子高齢化が進み、自治会運営も困難な状況にあります。このような状況を踏まえ、当委員会では自治会を越えた交流を行うことにより、人と人とのふれあいを大切にし、より充実したコミュニティを実現するため、自然豊かな地域の財産を活用した各種イベントを行っています。

連絡先：080-1420-7352

## 15 篠山市後川（しつかわ）地区 後川郷づくり協議会

後川地区は、少子高齢化が進み、高齢化率も40%に近づきつつある状況下において、地域産業の振興、地域の絆を深めるとともに、活性化の促進、高齢者をはじめ、誰もが安心して暮らせる地域づくり、将来を担う若者へ受け渡すべき「ふるさと後川」を誇れるものとするため、各種団体とともに手を携え活動をしています。

連絡先：079-556-2557

## 16 香美町柴山（しばやま）地区 柴山地区県民交流広場事業推進委員会

柴山地区は香美町の北部に位置し、海岸線は「山陰海岸ジオパーク」の一角にもなっています。当委員会では、海、山など自然の魅力と、一年を通して地域外から訪れる人が多いという地域の特性を生かした世代間交流や、地域活性化に向けた事業・活動に取り組んでいます。

連絡先：0796-37-0821

## 17 丹波市新井（にい）地区 新井自治協議会

新井地区では「住んでよかった、心豊かな新井の郷」をスローガンに、「安心・安全」、「人の絆」、「笑顔」の地域を目指し、子供育成支援、環境整備、健康増進等の事業に取り組み、3つのイベントを行っています。また、活力ある地域にするため、農業を通じて内部外部との交流を行っています。

連絡先：0795-72-2818

## 18 加東市上福田（かみふくだ）地区 三草ふれあい広場

源平の三草合戦や三草藩屋敷などの史跡がある静かで緑豊かな農村地域です。三草ふれあい広場では、地域力を創造しようと元気な地域の実現に向けて、「ワクワク探検」、「海のまち・山のまち交流事業」や「ふれあい喫茶」をはじめとした住民の交流を促進する様々な活動を展開しています。

連絡先：090-2287-8173 三村副会長

## 19 西宮市津門（つと）地区 津門社会福祉協議会

津門地区は非常に便利な町で、近年ではマンションが増え若い層も流入していますが、やはり高齢者も多く、新旧住民が混在しています。このような地域性をふまえ、地区一体となっていく活動、自治会ごとに行う活動…と事業を分担し、幅広い住民交流活動に“力”を入れて地域コミュニティの充実・強化をめざしています。

連絡先：0798-26-3509

## 20 猪名川町松尾台（まつおだい）地区 松尾台校区まちづくり協議会

松尾台地区は昭和40年代からの大規模住宅開発により住宅地域となったところですが、近年は少子高齢化が進展しています。地域全住民の交流・連携のもと、安らぎのあるまちの実現を目指し、その具体化と推進を図るため、地域住民の参画による各種事業を展開しています。

連絡先：072-741-5172 (FAX)

## 2 地域交流フェスタの実施概要

地域づくり活動、生涯学習、地域文化の振興など、これまでの生活創造センター、文教府・文化会館等での取組をベースに、県民局単位でも広場同士の交流を図り、相互活動のノウハウや課題を共有する地域交流フェスタを開催しました。

### ◆ 平成 26 年度 各地域における地域交流フェスタの実施内容

地域	日時・場所	事業名	合同で実施した事業
		実施内容	
全 県	11月22日(土) 11:00~16:30 兵庫県公館	地域コミュニティ・アワード 2014	
		県民交流広場のパネル展示・ステージ発表、広場お見合い会	
神 戸	10月24日(金) 13:00~15:40 神戸市中央卸売市場 関連中央棟	神戸地域県民交流フェスタ	
		「セミナー」「料理講習」を通じてコミュニティの活性化、活動のスキルアップをはかる	
阪 神 南	11月28日(金) 13:30~15:30 アルカニックホール・ミニ	県民交流広場地域交流フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神南県民交流大会</li> <li>・阪神南青少年健全育成フォーラム</li> </ul>
		県民交流広場のパネル・作品展示、コミュニティ活動をテーマとした講演 ほか	
阪 神 北	10月18日(土)・19日(日) 10:00~16:00 猪名川町カリヨンホール 人の広場	阪神北地域交流フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらっと☆阪神北オータムフェスタ</li> <li>・地域見本市</li> </ul>
		県民交流広場等地域活動団体のパネルによる活動紹介	
東 播 磨	7月21日(土) ~27日(日) 県立東播磨生活創造 センター	東播磨地域交流フェスタ	かこむ創造フェスタ 2014
		県民交流広場のパネル展示、地域活動団体による出店、ステージ発表	
北 播 磨	10月25日(土) 12:30~16:30 加東市滝野文化会館	県民交流ひろば大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北はりまふるさとフェスタ</li> <li>・こころ豊かな美しい北播磨をめざす実践推進大会</li> <li>・北播磨地区自治会研究会</li> </ul>
		県民交流広場のパネル展示・活動紹介・展示販売(朝市や特産品等の販売)	
中 播 磨	10月19日(日) 10:00~15:00 姫路港飾万津臨港公園	中播磨地域活動交流メッセ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路港ふれあいフェスティバル</li> <li>・なかはりま消費生活創造まつり</li> <li>・伝統文化ふれあいフェア等</li> </ul>
		県民交流広場のパネル展示(68地区活動紹介)、各地域団体の活動発表 など	

地域	日時・場所	事業名	合同で実施した事業
		実施内容	
西播磨	10月26日(日) 10:00~16:00 西播磨総合庁舎	西播磨地域交流フェスタ	西播磨オータムフェスタ in 光都2014
		広場実施団体による活動内容、活動写真等のパネルの展示、パンフレットの配布ほか、紙すき体験教室の実施	
但馬	3月15日(日) 10:00~12:00 養父市立ビバホール	たじま地域づくり活動交流フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域づくり活動交流会</li> <li>・県民交流広場但馬地域ネットワーク会議</li> <li>・夢但馬ファンファンフェスタ</li> </ul>
		県民交流広場・地域活動団体の活動発表、交流会など	
丹波	10月26日(日) 10:00~16:00 丹波の森公苑	丹波地域交流フェスタ	丹波の森フェスティバル
		県民交流広場の活動展示、特産品を活かした料理・農産物の販売、ステージ発表など	
淡路	10月5日(日) 10:00~15:00 県立淡路文化会館	淡路地域交流フェスタ	いざなぎの丘元気っ子フェスティバル
		県民交流広場のパネル展示、特産品の販売など	

## 2-1 神戸地域県民交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年10月24日(金) 13:00～15:40
- ◆ 場所：神戸市中央卸売市場 関連中央棟（神戸市兵庫区）

### ◆ 趣 旨

県民交流広場実施団体が区域を超えた相互交流を行い、課題・成果について情報共有することで、地域間の連携を促進すると共に、活動内容の充実や、取り組み意欲を向上させることを目的として実施。

### ◆ 内 容

セミナー及び講座により、コミュニティ活動のスキルアップを図ると共に、参加者間での交流を行った。

#### 第1部「地域コミュニティにおける上手に次世代へ引継ぐ工夫」 13:00～14:00

活動による地域コミュニティへの効果、意義を確認し、次世代へ引き継ぐ工夫を学ぶ

講師：NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事 榎本英樹氏



#### 第2部 魅力ある料理等『「安い！手軽！美味しい！」料理とデザートづくり』 14:00～15:40

講師による実演・試食及び各広場の情報交換・交流を図る

講師：料理教室「カラダにやさしいクッキング」主宰 川上マユミ氏



### ◆ 成 果

多数の広場関係者の出席を得るなか、各広場間での盛んな交流が行われた。

また、各広場が抱える共通課題に対する解決手法や、多くの広場が取り組んでいる活動「食事会・料理教室」に役立つスキルを学び、今後の活動への意欲を向上させることができた。

## 2-2 阪神南県民交流広場地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年11月28日(金) 13:30～15:30
- ◆ 場所：アルカイクホール・ミニ（尼崎市昭和通）

### ◆ 趣 旨

阪神南地域の県民交流広場をはじめ、地域づくり活動を実践している方々やグループ等が一堂に会して交流を図り、相互活動のノウハウや課題を共有する地域交流フェスタを開催し、県民交流広場の今後の継続的な取組への意欲を高め、活動充実にに向けた機運の醸成を図る。

### ◆ 内 容

#### ◇ さわやかステージ

オカリナアンサンブル

オカリナ、マンドリン、ピアノのユニットによるオープニングコンサートを開催。

会場は優しい音色で包まれ、和やかな雰囲気での開会となった。



#### ◇ 地域づくり講演会

講師 壽 文寿 氏（福祉落語家）

演題 「福祉落語家誕生記 ～“笑い”は人を繋げる地域コミュニティの潤滑油～」

阪神淡路大震災の被災地仮設住宅をボランティア活動で訪れ、被災者に落語と笑いを届けた講師の実体験を聞き、地域の繋がりの大切さを再認識するきっかけとなった。



#### ◇ 県民交流広場のパネル・作品展示

管内13広場による、写真やイラストを交え工夫を凝らしたパネルや、手作り作品を展示し、各広場で展開されている多様な活動を紹介した。



### ◆ 成 果

- ・ パネル展示等を通じて県民交流広場の取組みを参加者に周知するとともに、地域活動の活性化に向けた情報交換の場となった。
- ・ 3つのイベント（「県民交流大会」「青少年健全育成フォーラム」「県民交流広場地域交流フェスタ」）を合同開催することにより、様々な分野で活躍する個人やグループ間の交流を図ることができた。



## 2-3 阪神北地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年10月18日(土)～19日(日) 10:00～16:00
- ◆ 場所：カリヨンホール(日生中央センタービル3階)  
人の広場(能勢電鉄「日生中央駅」前)

### ◆ 趣 旨

阪神北地域の県民交流広場をはじめ、子育てや環境、文化、生涯学習など様々な分野で活動する地域団体等の交流を図ることにより、活動のノウハウや課題を共有し、広場における今後の継続的な取組への意欲を高め、活動の充実を支援することを目的とする。

### ◆ 内 容

当日は「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」(会場：カリヨンホール、人の広場)と合同開催し、両会場で約7,000人の来場者があった。

カリヨンホールでは猪名川ときめきステージとして、北摂魅力発見講座、北摂の秋を彩るミニコンサート、こども文化フェスタなどの多彩な内容の催し物や文化団体等による展示が行われたほか、人の広場においては歌や太鼓、子どもダンスなどの野外ステージ、若者ボランティアグループによる子どもたちが楽しめる遊びコーナーが開催されたほか、まちづくり協議会やコミュニティ推進協議会等県民交流広場実施団体をはじめとする地域で活動する団体など42団体によるブースの出展があり、日頃の活動の成果を発表するとともに交流を深めた。



### ◆ 成 果

- ・パネル展示等を通じて県民交流広場の取り組みを多くの方に紹介することができた。
- ・「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」と合同開催したことにより、様々な分野で活動する地域団体等との情報交換ができ交流や連携が深まった。
- ・開催場所が駅前であり、県民交流広場を多くの一般県民に周知することができた。

## 2-4 東播磨地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年7月21日(月・祝)～27日(日)
- ◆ 場所：県立東播磨生活創造センター「かこむ」(加古川市加古川町)

### ◆ 趣旨

県民交流広場実施団体をはじめ、幅広い分野の地域活動団体が、各自の得意な広報手段を通して活動を広くPRし、交流することにより、取り組みへの意欲を高め、新たな活動手法や活動対象、協働仲間等といった活動充実に向けたヒントを掴むことを目的として実施した。



広場パネル展示→  
(抜粋・拡大)

### ◆ 内容

7月21日から東播磨生活創造センター「かこむ」(県加古川総合庁舎)において、「東播磨地域交流フェスタ」を「かこむ創造フェスタ」と同時開催した。地域活動団体の活動展示では、管内でも特に特徴的な活動を展開する県民交流広場を抽出し、手づくりの活動の可能性や地域の団結力をPRした。その他、約30団体による体験教室や、2日間にわたるステージ発表などを実施した。

また、同年4月19日には、東播磨地域づくり交流会を開催。夢こらぼ主宰の松尾やよい講師を招き、コミュニケーションスキルを磨くワークショップを実施した。



### ◆ 成果

同フェスタでは、幅広い年齢層の来場者があり、参加団体からは積極的な声かけも見られ、有意義な交流機会となった。県民交流広場も、特徴的な活動(地域資源を活用した広場、若年層を主役にした広場、聴導犬を体験する広場、地域に愛されるマスコットを生んだ広場等)をPRすることで、興味を持って話しかけてくださる来場者が多く、広くPRができた。

東播磨地域づくり交流会では、緊張の面持ちの参加者も、次第に表情がほぐれていき、お互いの活動情報を交換するなど、交流を深めることができた。

## 2-5 北播磨県民交流ひろば大会

- ◆ 日時：平成26年10月25日(土) 12:30～16:30
- ◆ 場所：加東市滝野文化会館(加東市下滝野)

### ◆ 趣 旨

人口減少社会の到来や、社会的孤立の問題など家族や地域の人間関係の希薄化が懸念される中、住んでいるところへの愛着やふるさとの人々との絆は、思いやりや命を大切にする心の醸成につながるとともに、地域づくりの原動力にもなる。

その「ふるさと」を意識し、誇りと愛着を育て、元気な地域コミュニティを実現するため、参画と協働のもと多様な主体がネットワークを形成しながら、「地域が元気なふるさと兵庫」をめざした取組を展開する必要がある。

このため、地域づくりに貢献された方々、地域ボランティア活動に功績があった方々を顕彰するとともに、実践活動団体をはじめ、自治会関係者や、ボランティア等が交流し、絆を深めることにより、ふるさとづくりを推進する。



### ◆ 内 容

- ◇さわやかステージ 河高保育園のみなさん
- ◇表 彰  
兵庫県知事表彰  
(兵庫県自治賞、こうのとり賞、くすのき賞、のじぎく賞)  
ふるさと川柳コンテスト入賞者表彰
- ◇実践活動発表 古川町自治会(小野市)  
鳥羽地区自治会(多可町)
- ◇講 演 落語家 桂 文喬(かつら ぶんきょう) 氏  
「この世の中で大切なモノ～絆・健康・人間味～」
- ◇その他 県民交流広場の活動パネル展示 全地区  
活動ブース展示 2地区  
野菜や特産品の販売 3地区



### ◆ 成 果

多くの方の参加を得て、実践活動団体をはじめ、自治会関係者や、ボランティア等が交流し、絆を深めることにより、「生まれ育った北播磨」「生活(くらし)続ける北播磨」を大切に思う心を育み、魅力を再発見・再認識することが出来、ふるさとづくりを推進する良いきっかけづくりになった。

## 2-6 中播磨地域活動交流メッセ

- ◆ 日時：平成26年10月19日(日) 10:00～15:00
- ◆ 場所：姫路港飾万津臨港公園(姫路市飾磨区)

### ◆ 趣 旨

中播磨地域の地域団体が、先導的な活動を行っている他団体の活動を知り、協働して活動するきっかけをつくるとともに、地域の活動と家庭をつなぎ、より一層、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として、地域団体の実践活動発表及び地域住民同士の交流の場となるイベントを実施。

### ◆ 内 容

#### ◇ 県民交流広場活動パネル展示

中播磨県民センター管内の県民交流広場実施地区の活動についてパネル展示で紹介。

#### ◇ 伝統文化ふれあいフェア(中播磨青少年本部)

万華鏡づくり、缶バッチづくり、火おこし体験、ポップコーンとポン菓子の配布。

#### ◇ なかはりま消費生活創造まつり

版画刷り体験、紙芝居体験、新鮮な野菜や手作り品などの販売、消費者クイズなど。

#### ◇ 中播磨地域ビジョン委員会活動発表

県花のじぎくの写真展、木工工作、家島特産品のPR、非常食の試食など。

#### ◇ 官兵衛屋台村

県内各地の黒田官兵衛ゆかりの地のご当地グルメの提供。



【県民交流広場パネル展】



【伝統文化ふれあいフェア】



【なかはりま消費生活創造まつり】



【中播磨地域ビジョン委員会活動発表】



【官兵衛屋台村】

### ◆ 成 果

様々な活動に取り組む団体に広く参加を呼びかけたことにより、当日は4,000人を超える参加があった。県民交流広場活動パネル展示を通して、中播磨地域68地区の活動を紹介し、県民交流広場事業を広くPRできた。

## 2-7 西播磨地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年10月26日(日) 10:00～16:00
- ◆ 場所：西播磨総合庁舎(上郡町光都)

### ◆ 趣旨

県民交流広場や生活創造グループ、各種団体等が集い日頃の成果を発信し、西播磨地域の活性化と連携・交流の促進を図ることを目的とした、「西播磨オータムフェスタ in 光都」と同時開催することにより、地区相互の活動のノウハウや課題を共有するとともに、ネットワークづくりの推進、今後の活力ある地域づくりの手法を学ぶ場とするため開催した。

### ◆ 内容

～地域づくり・まちおこしを積極的に展開している県民交流広場実施2団体が出展～

#### ◇『のはらコミュニティ推進委員会』～宍粟市野原地区～

- ふれあい事業、広葉樹の森づくり、スポーツ事業、伝統芸の継承、自主防災事業、人権研修等、主な活動内容・活動写真等のパネル展示。
- 活動の概要・イベントの紹介等を掲載したチラシ・パンフレットの配布。
- 野原地区の自然豊かな景観のパネル展示(A1サイズ)



#### ◇『石井地域づくり協議会』～佐用町石井地区～

- 三極和紙の作り方等、活動内容・活動写真のパネル展示やパンフレットの配布
- 和紙で作成した絵はがき・絵画・色紙・しおり・うちわ等の展示、販売
- 紙すき体験教室の実施(はがきの作成)



### ◆ 成果

- ・秋の大型イベントである「西播磨オータムフェスタ in 光都」と同時開催することにより、一般県民に県民交流広場事業の趣旨や活動内容について、広く周知することができた。
- ・当日は、子どもから高齢者まで約7,500人の来場者があり、パネル展示や活動発表、体験教室を通して、西播磨地区内外の住民と交流を深めることができた。
- ・他団体の様々な活動を知ることで、主体的に地域づくり活動に取り組むことの重要性を再認識するとともに、活動の拡大、継続の意欲向上につながった。

## 2-8 たじま地域づくり活動交流フェスタ

- ◆ 日時：平成27年3月15日(日) 10:00～12:00
- ◆ 場所：養父市立ビバホール(養父市広谷)

### ◆ 趣 旨

県民交流広場地域推進委員会、並びに様々な分野で活動している団体や個人が一堂に会し、相互の連携と、情報の共有化を促進し、但馬地域の地域づくり活動の発展を図るとともに、平成26年度中、“出会い・感動”を合言葉に、但馬全域で展開された「夢但馬2014」の事業成果の定着と継承をめざす。

### ◆ 内 容

#### ◇但馬地域づくり活動交流会・県民交流広場但馬地域ネットワーク会議



【地域づくり活動交流会・活動発表】

「地域づくり活動の連携と情報の共有化」をテーマに、柴山地区県民交流広場事業推進委員会の漁船を活用した防災訓練の取組事例をはじめ、3地域活動団体の活動発表、並びに交流会等を実施した。

#### 【活動発表団体】

- ・柴山地区県民交流広場事業推進委員会
- ・NPO法人いくのライブミュージアム
- ・び〜ちふえすた実行委員会
- ・但馬民俗芸能応援隊

#### 【参加者】

- ・県民交流広場地域推進委員会(25団体、40名)
- ・地域づくり活動団体・個人、一般(160名)

#### ◇夢但馬ファンファンフェスタ

会場周辺では、地域活性化のための交流事業「夢但馬2014」の閉幕イベントが同時開催され、閉会式典をはじめ、但馬の特産品・グルメコーナー、グルメコンテストのほか、地元ミュージシャンによる音楽演奏会、手づくりマーケットや、バルーンアート、紙芝居、昔遊び体験やおもちや遊び等のキッズスペースが設けられ、終日、大勢の家族連れでにぎわった。

【来場者 約10,500人】



【夢但馬ファンファンフェスタ】

### ◆ 成 果

- ・夢但馬ファンファンフェスタとの同時開催によって、より多くの一般県民が集い、但馬全域で展開されている様々な地域づくり活動をアピールすることができた。
- ・地域づくり活動団体・個人との交流会等を通して、相互の連携が深まり、地域づくり活動のさらなる広がり、組織・活動基盤の充実につながることを期待できる。

## 2-9 丹波地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年10月26日(日) 10:00～16:00
- ◆ 場所：丹波の森公苑(丹波市柏原町)

### ◆ 趣旨

住民主体の活動と交流により丹波の森づくりが幅広く展開されている生活創造活動の成果の発表や交流の場である「丹波の森フェスティバル2014」にあわせて開催し、来場者に県民交流広場の取組を紹介するとともに、県民交流広場同士の交流を図り、相互に活動のノウハウや課題を共有する。

### ◆ 内容

#### ◇ 県民交流広場活動展示

丹波地域の県民交流広場の活動を、「都市部との交流事業」や「安全な地域づくり事業」などの分野毎にパネルで紹介し、広くPRした。

#### ◇ 県民交流広場テントブースの出展

丹波の森フェスティバル屋台コーナーにて、雲部地区、西紀北地区、上久下地区が、地元の特産品を活かした料理や農産物の販売等を行った。

#### ◇ ふれいあいの場づくり

地域で活躍している若者や文化サークルが活動の成果を発表するステージを設置した。また、ピザ作りのワークショップや里山ハイキングなど、世代を越えたふれあいと交流の場を提供した。



【県民交流広場活動展示】



【県民交流広場出展(料理・農産物販売)】



【県民交流広場出展(化石発掘体験)】



【ふれあいの場づくり】



### ◆ 成果

県民交流広場活動の展示や地元の特産品を使った料理や農産物を販売する屋台コーナーを通じて、県民交流広場の取組を一般の県民に周知することができた。

## 2-10 淡路地域交流フェスタ

- ◆ 日時：平成26年10月5日(日) 10:00～15:00
- ◆ 場所：県立淡路文化会館(淡路市多賀)

### ◆ 趣旨

淡路地域の県民交流広場相互の交流を図り、各広場のノウハウや課題を共有し、活動の充実を図るとともに、今後の継続的な取組への意欲を高め、更には他の地域づくり活動団体、生涯学習団体との交流を通じて広場活動の活性化、情報発信を図ることを目的として実施。

### ◆ 内容

兵庫県立淡路文化会館において、地域づくり活動団体や生涯学習の団体等が、子どもの健全育成を目的としたプログラム等を準備し開催する「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」と合同開催した。当日は、焼き鳥や焼きそばなどの飲食・販売ブース(7ブース)、アクセサリやおもちゃづくりのほか、バルーンアートや押し花、紙芝居や手品などのわくわく体験ブース(37ブース)の出展があった。

県民交流広場からは、淡路地域の5広場が出展し、活動パネルの展示や飲食物の販売、地元特産品の販売など、それぞれが特色のあるブースを展開した。

当日は、台風18号の接近で開催が危ぶまれ、出展を予定していた広場でも地元での台風対策のため当日の出展を断念されたところがあったが、天候は何とか持ちこたえ、他のイベントが中止になった影響もあり、昨年を上回る約2,500人の参加で大いに賑わった。



【県民交流広場ブース風景】



【いざなぎの丘元気っ子フェスティバル風景】

### ◆ 成果

「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」との合同開催ということで、県民交流広場同士の交流のみならず、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、世代間交流も図ることができた。また、パネル展示や特産物のPR、販売を通じて県民交流広場の取組を広く周知することができた。



### 3 全県連絡協議会及び地域ネットワーク会議

#### 〔設立の趣旨〕

平成 21 年度には、県民交流広場の実施地区が全校区の過半数となり、地域を越えた交流に対する機運が高まってきたことから、県民局ごとにすべての広場が参画し、広場運営の相談、情報交換ができる「地域ネットワーク会議」を設置するとともに、その代表者が参集して、成果の共有や共通課題の検討、広場全体の交流の場づくりを進める「全県連絡協議会」を設置しました。

なお、「地域コミュニティ・アワード」は、全県連絡協議会の企画、協議に基づき、全県レベルで広場が相互に活動のノウハウや課題を共有し、意欲を高める交流の場づくりとして実施しています。

#### 〔全県連絡協議会の実施状況〕

開催日・場 所	内 容
平成 26 年 9 月 18 日 パレス神戸	《平成 26 年度第 1 回全県連絡協議会》 地域コミュニティ・アワード 2014 の開催に向けた意見交換を行うとともに、地域コミュニティ活性化のための取組事例集の発行にあたっての意見交換を行った。
平成 26 年 11 月 22 日 兵庫県公館	《地域コミュニティ・アワード 2014》 第 1 章及び第 2 章参照
平成 27 年 3 月 17 日 県立ひょうご女性交流館	《平成 26 年度第 2 回全県連絡協議会》 地域コミュニティ・アワード 2014 の成果や課題について意見交換を行い、今後の県民交流広場の展開について協議を行うとともに、ふるさと交流会 2015 開催にあたっての意見交換を行った。 また、今後の広場活動の充実について、コミュニティ応援隊アドバイザーグループからの意見等を交えながら議論を進めた。

◆ 平成 26 年度 地域ネットワーク会議の開催状況

県民局名・日時	場 所 ・ 主 催	テーマ ・ 概 要
神戸 10月24日(金) 13:00~15:40	【場所】 神戸市中央卸売 市場関連中央棟 【主催】 神戸県民センター	《神戸地域県民交流広場ネットワーク交流会》 【テーマ】 「セミナー&魅力ある料理等で交流する 県民交流広場の集い」 【概 要】 「セミナー」「料理講習」を通じた広場相 互の情報交換・交流
阪神南 3月12日(木) 13:30~15:30	【場所】 学文公民館 【主催】 阪神南県民センタ ー、鳴尾北県民交 流広場事業推進 委員会	《阪神南地域県民交流広場ネットワーク会議》 【テーマ】 広場間交流の場づくり 【概 要】 様々な地域団体との連携により、活発に活動展 開している鳴尾北地区と共催。同地区が連携し ている団体の 1 つでもある鳴尾吹奏楽団の協 力得て、コンサートを開催後、広場交流会を行 った。 ① 活動事例発表（鳴尾北地区）、鳴尾吹奏楽 団によるコンサート ② 広場交流会（グループに分かれ意見交換、 全体会での課題共有）
阪神北 1月20日(火) 14:00~16:20	【場所】 宝塚市立男女共同 参画センター・エ ル学習交流室 【主催】 阪神北県民局	《地域活動フォーラム》 【テーマ】 活動を成功させるコツ 【概 要】 まちづくりコーディネーターの中脇健児氏を進行 役に、中脇氏の講演、地域活動団体の活動発 表、参加者も交えたディスカッションを行っ た。
東播磨 4月19日(土) 15:00~16:20	【場所】 県加古川総合庁舎 2階会議室 【主催】 東播磨県民局 ほか	《東播磨地域づくり交流会》 【テーマ】 話し上手・聞き上手で素敵にコミュニケー ション 【概 要】 地域活動に一人ひとりの個性や絆を活かすた め、県民交流広場運営者や地域活動実践者間の 交流を交えながら、コミュニケーションスキル を磨くワークショップを実施。
北播磨 10月25日(土) 12:30~16:30	【場所】 滝野文化会館 【主催】 北播磨県民局 ほか	《県民交流ひろば大会》 【テーマ】 参画と協働のもと多様な主体がネットワークを 形成しながら、「地域が元気なふるさと兵庫」 をめざした取組を展開する。 【概 要】 パネル展示、講演等を実施し、広場実施団体と 自治会関係者やボランティア等との交流を行 った。

県民局名・日時	場 所 ・ 主 催	テ ー マ ・ 概 要
<p>中播磨</p> <p>10月19日(日)</p> <p>10:00~15:00</p>	<p>【場所】姫路港飾万津臨港公園</p> <p>【主催】中播磨県民センターほか</p>	<p>《中播磨地域活動交流メッセ》</p> <p>【テーマ】地域コミュニティの活性化と交流の拡大</p> <p>【概要】県民交流広場の活動内容などを地区ごとにパネル展示で発表し、県民交流広場事業について広くPRした。</p>
<p>西播磨</p> <p>3月9日(月)</p> <p>13:30~16:30</p>	<p>【場所】西播磨県民局</p> <p>【主催】こころ豊かな美しい西播磨推進会議</p>	<p>《西播磨地域ネットワーク会議》</p> <p>【概要】地域の活動団体やグループ等が集い、活動成果の発表を通じて交流や連携を深め、重層的なネットワークづくりを推進するとともに、地域づくりに向けた活動のノウハウや課題を共有することにより、活動の更なる充実が図られるよう担い手の資質向上を図るため、開催する。</p>
<p>但馬</p> <p>3月15日(日)</p> <p>10:00~12:00</p>	<p>【場所】養父市立ビバホール</p> <p>【主催】但馬県民局・こころ豊かな美しい但馬推進会議</p>	<p>《たじま地域づくり活動交流フェスタ》</p> <p>【テーマ】地域づくり活動の連携と情報の共有化</p> <p>【概要】県民交流広場・地域活動団体の活動発表、交流会等</p>
<p>丹波</p> <p>12月3日(水)</p> <p>13:30~16:30</p>	<p>【場所】丹波の森公苑</p> <p>【主催】丹波県民局</p>	<p>《丹波地域ネットワーク会議》</p> <p>【テーマ】地域特性を活かしたまちづくり</p> <p>【概要】県民交流広場実施地区における活動事例発表、成美大学地域活性化センター所長 中尾誠二准教授による講演、その他各地区の活動を紹介するパネル展示を通じて、地域課題への対応策や情報の共有を図った。</p>
<p>淡路</p> <p>9月6日(土)</p> <p>13:00~16:00</p>	<p>【場所】県立淡路文化会館</p> <p>【主催】(公財)兵庫県生きた創造協会 淡路文化会館</p>	<p>《県民交流広場等ネットワーク化支援事業、淡路地域ネットワーク会議》</p> <p>【テーマ】広場の交流とネットワークの拡大で淡路の活動を元気アップ</p> <p>【概要】淡路地域の県民交流広場が一堂に会し、日頃の活動状況を発表する場を設け、広場相互の交流を図った。またCATアドバイザーによる全員参加型ディスカッションで意見交換等を行った。</p>

## 4 コミュニティ応援隊（CAT）の派遣

### 〔コミュニティ応援隊とは〕

県民交流広場事業の効果的な活用や、コミュニティの様々な課題解決を応援するため、県が学識者や専門家、モデル地域リーダーらに協力を求めて設置したコミュニティ応援隊（CAT）の中から、地域のニーズに沿った者を派遣します。

特に、県民交流広場を通じたコミュニティづくりにあたっては、地域の機運を盛り上げ、多くの住民の関心と参加を高めることが大切です。それには、プラン検討段階で、住民が集まり、ワイワイガヤガヤと今後のコミュニティのあり方、そのための取り組み、そして広場の整備内容といった意見を出し合って共有していく「ワークショップ」が効果的です。このワークショップの進行を手伝う専門家も、CATから派遣します。

### 〔コミュニティ応援隊の申し込みの流れ〕

派遣を求める地域の方は、県民局県民課、文化会館、消費生活センター等（県民局圏域によって窓口が異なります）に申し込みます。

窓口機関は、CAT登録者（アドバイザーリスト）を示しながら、地域のニーズにふさわしいアドバイザーを助言し、希望にもとづいて双方をつなぎます。

コミュニティ応援隊のメンバーが、例えば、こんな課題、こんな悩みの解決をお手伝いします！

- ◎ コミュニティの大切さをみんなに理解してもらいたい！
- ◎ できるだけたくさんの住民に参加してもらって、地域の課題やニーズに即した事業プランをつくりたい！
- ◎ いろいろな意見が出て、県民交流広場の活用方向がまとまらない！
- ◎ 先行して県民交流広場に取り組んだ地域の体験から学びたい！
- ◎ コミュニティのホームページを立ち上げたいので助言がほしい 等々

各地域の窓口にお問い合わせください。（P57 参照）



◎あらかじめ登録されたコミュニティ応援隊メンバーの中から、地域の依頼内容にふさわしい講師をご紹介します。



◎講師に依頼内容を伝え、当日の進め方を調整するとともに、日程を調整します。（県民局・県民センターもお手伝いします）



- ◎講師を迎え、学習会やワークショップを実施！！
- ◎プログラム実施後 15 日以内に報告書を提出。

## 〔専門分野、支援・アドバイスできる内容〕

県民交流広場事業の活用や整備後の運営・活動の充実を図るため、例えば次のような支援・アドバイスが考えられます。

	助言・支援の例	アドバイザーの例
事業 活用 支援	体験談披露・地域へのアドバイス： 広場活用の成果、広場の導入・運営で直面した課題と対応方策など(0件)	県民交流広場モデル地域のリーダー
	ワークショップ開催支援： 地域の現状や整備する拠点の活用方法について話し合う、ワークショップの企画助言・進行支援など(0件)	ワークショップの進行ノウハウを持った者
	コミュニティの重要性提起、他地域の事例紹介： 地域主催の学習会やフォーラムの講演・助言など(19件)	研究者・実践家など
運営 ・ 活動 支援	地域の情報化支援： ホームページ開設、SNS活用方法など(3件)	各分野の専門家、 団体・NPOリー ダーなど
	NPOとの連携支援： 協働事業の検討・提案づくりなど(0件)	
	コミュニティビジネス支援： 起業ノウハウ・運営方法など(0件)	
	地域人材の確保支援： 地域通貨導入、人材養成の方策など(1件)	
	各種地域課題解決： 防犯、子育て、食・特産品開発、防災、文化、福祉、まちづくり、環境等各分野の活動充実など(39件)	

※ 26年度のコミュニティ応援隊の派遣は62件。その内訳を( )書きで記載しています。

## 〔ワークショップのすすめ〕

県民交流広場のプランづくりをはじめ、コミュニティづくり・まちづくりの分野で、地域の「思いを共有」し、「合意形成」を図っていくためには、ワークショップという手法が効果的です。

モデル地域においても、「多くの住民が広く意見を出し合い、思いを共有するためにはワークショップで、ワイワイ意見を出し合うのが一番良い。やるぞという機運づくりにもなった」という意見が多く聞かれました。

ワークショップとは、講義や講演など一方的な知識の伝達ではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったりつくり出したりする、双方向の学びと創造のスタイルです。

県民交流広場の事業プランをまとめたり、どのような地域にしていくかを住民みんなで話し合うため、ワークショップの開催をおすすめします。

コミュニティ応援隊には、ワークショップの運営ノウハウを持つ者（ファシリテーター）が数多く参加しています。

〔経費の負担〕

派遣目的	謝 金	交通費
交流広場支援	県負担(3万円)	地域負担(実費相当額)
分野別学習支援		

〔注意事項〕

- 1 県が負担できるのは、交流広場支援では1地区年1件、分野別学習支援では同一申請主体年2件までとなっています。
- 2 県民交流広場交付決定後の謝金・旅費は、広場の活動費助成の対象となり、地域負担となります。
- 3 予算に限りがあるため、県が謝金を負担できないこともあります。
- 4 消費生活センター・地域生活創造情報プラザへのグループ登録により、会場提供等の支援もあります。

〔申込先・お問い合わせ先〕

地 域	県民交流広場事業全般の窓口	直通電話番号	コミュニティ応援隊の窓口	直通電話番号
神 戸	神戸県民センター県民課	078-361-8597	県庁協働推進室	078-362-4000
阪神南	阪神南県民センター県民運動課	06-6481-4397		
阪神北	阪神北県民局県民課	0797-83-3136		
東播磨	東播磨県民局県民課	079-421-9093	東播磨県民局県民課	079-421-9093
北播磨	北播磨県民局県民課	0795-42-9516	嬉野台生涯教育センター	0795-44-0711
中播磨	中播磨県民センター県民課	079-281-9196	中播磨県民センター 中播磨消費生活創造センター	079-281-9601
西播磨	西播磨県民局県民活動支援課	0791-58-2100	西播磨文化会館	0791-75-3663
但 馬	但馬県民局協働推進課	0796-26-3645	但馬文教府	0796-22-4407
丹 波	丹波県民局県民課 (丹波の森公苑内)	0795-72-5168	丹波の森公苑	0795-72-2127
淡 路	淡路県民局県民・商工労政課	0799-26-2043	淡路文化会館	0799-85-1391
全 県	県庁協働推進室	078-362-4000	県庁協働推進室	078-362-4000

※平成27年度より、神戸・阪神南・阪神北地域に係るコミュニティ応援隊の窓口は、県庁協働推進室に変わりました。



お電話をお待ちしています!



## 5 ホームページ等による情報発信

県民交流広場事業に関わられる方にとって、事業提案や活動を行っていくにあたって必要となる情報をできるだけ多く知ってもらい、効果的な活動につなげていただくために、「県民交流広場公式ホームページ (http://www.hyogo.kouryu-hiroba.jp)」を開設しています。

ホームページでは、イベント情報・ニュース・助成情報等の新着情報をはじめとして、次のような形で情報を発信しています。ぜひ、ご活用ください。

### 《 「県民交流広場公式ホームページ」のトップページ 》



イベント情報、ニュース、助成情報等を随時お知らせしています。

#### ▶ 新着情報(お知らせ)

イベント情報・ニュース・助成情報等

- 平成24年度当初予算について(2012/02/24)New
- リレーコラム(篠山市日置地区より)(2012/02/13)
- リレーコラム(淡路市生田地区より)(2012/01/26)
- 地域コミュニティ・アワード2011の開催結果(2011/12/20)
- 取組事例集[2]を発行(2011/12/02)

#### ▶ 知事メッセージ

元気で安心な地域づくりをめざして  
兵庫県知事 井戸 敏三

#### ▶ コミュニティってなに?

いま、コミュニティが注目されています  
コミュニティの現状と未来、活動に参加する魅力をご紹介します

#### ▶ 県民交流広場事業について

皆さまのコミュニティ活動を支援します  
県民交流広場事業のご紹介と活用メリット

#### ▶ 事業を活用しよう!

事業の活用をご検討の方へ  
応募条件など必要な手続き

#### ▶ プランづくりのポイント

地域づくりは自分たちの手で  
立ち上げから運営までのノウハウがいっぱい

#### ▶ さらに詳しく..

PRビデオ、ハンドブック、活用の手引き  
各種ダウンロードコンテンツが充実

#### ▶ コラム

地域コミュニティが兵庫を変える

県民交流広場事業の実施にあたって参考となる情報を掲載しています。

#### 県民交流広場がいっぱい!

▶ 地域の紹介

#### Q&A

▶ よくある質問と回答

#### コミュニティ応援隊

▶ 専門家を派遣します

県民交流広場事業と協働するNPOの運営サイト



兵庫の地域づくりに携わる人と人をつなぐSNS  
(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

県民交流広場実施地区を紹介しています。

コミュニティ応援隊の派遣に関する情報を掲載しています。